

ボックスホッケーは、相手ゴール（ボックス両端の穴）をめがけてスティックでパックをシュートしあうミニホッケーです。誰にでも簡単に楽しむことができますが、スティックを思い切って振るので、ゴール近くで観戦するのは危険です。

1 用具

(1) ボックス

ワンボックスの大きさは、45×90cmです。ゲームは2ボックスで行う方法と、4ボックスで行う方法の2通りあります。

(2) スティック

長さ90cm、直径1.8cmの塩ビパイプにラバーグリップが付いています。

(3) パック

直径5.5cm、厚さ2cmの木製の円盤で、最高7個のパックが必要になります。得点のあったゴールの外側にパックを置き、7個中4個取ったら勝ちになります。

2 ゲームの進め方

(1) 各プレーヤーはスティックを1本ずつ持ってボックスの両サイドに向かい合って立ちます。このとき相手ゴールは向かって左端になります。

(2) ボックスの中央フェンス上にパックを置き、各チームの代表者がフェイスオフを行う。フェイスオフとは、まず自陣コート内を軽く叩き、次に相手チームの代表者とスティックと打ち合わせます。これを3回繰り返し、3回目に相手チームの打ち合わせを合図に素早くフェンス上のパックを隣のボックスに打ち入れます。

(3) プレー中にパックがフェンスを飛び越えて外に出てしまったり、隣のボックスまで飛んでいってしまったらすぐにゲームを中断し、パックが出たボックスのゴール寄りでないフェンス上にパックを置き、フェイスオフを行います。

3 反則

次に挙げる行為は反則となり、3回の反則で相手側に1点を与えます。

(1) 各ボックスをつなぐホール、またはゴールの前にスティックを1秒以上停止させて防ぐ。

(2) 各ボックスをつなぐホール、またはゴールの中に故意にスティックを入れる。

(3) 1つのボックス内に同じチームのプレーヤーが2名以上スティックを運び入れてプレーする。

